

令和 6 年1月 20 日

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

令和 6 年能登半島地震 日本防災士会・新潟県支部の対応

能登半島地震でお亡くなりになられた皆さまに、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■震災後の新潟県支部のうごき

1月1日 発災後すぐに避難所運営訓練に関係した防災士が中心となって地元の小中学校やコミュニティセンターなどの避難所運営にあたる
津波避難誘導や自主防災会の運営、ペット避難などの報告がありました
身内や会社同僚の家が液状化するなどの被害

家具が固定化されていない家屋の被害(上越市直江津)震度 5 強 津波警報



1月2日 宿泊避難者への対応などが報告される
夕方までには新潟県下のほとんどの避難所が閉所
各防災士が地元などを見廻り(液状化箇所等を市役所に報告)
新潟県災害ボランティア調整会議(新潟県社協)から新潟市西区社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立上げ準備に入り派遣要請を受ける(第 1 回会議)
協働型運営の団体として一役を担い西区社協と協働をはじめ



新潟市西区の液状化被害状況

1月3日 新潟市西区社協が災害ボランティアセンターの設置
 西区社協とペアリングで「断水・液状化地域ローラー作戦」(ニーズ調査)6名を派遣
 県内開設されている避難所5か所(避難者27名)いずれも新潟市西区
 住民主導型避難所に3名派遣(防災士5名が交代で宿泊避難者の対応)以後毎日



新潟県社協、西区社協、NSVN 李仁鉄代表、フードバンクにいがた、新潟ねっと、防災士会新潟県支部

1月4日 「社協職員や防災士を中心としたチームで状況確認のため訪問調査
 を実施しています。」(下記社協 HP 案内文にて)5名派遣

<https://niigatanishiku-syakyo.jp/4503/>

6日～8日災害ボランティア募集開始(即日定員に達する)

1月5日 6日開始のボランティアセンター準備 9名を派遣(ニーズ調査、VC設営)

1月6日 新潟市西区災害ボランティアセンター本格稼働
 災害ボランティア(一般32名+団体48名=80名)

VCスタッフ防災士12名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



朝のスタッフミーティング



一般ボランティアにレインション(長濱防災士)

1月7日 VCスタッフ防災士12名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



— 昨年の関川村でのボラセンスタッフの経験が活かされる

- 1月8日 降雪のためボランティア活動中止
引っ越し準備のため3名派遣
- 1月9日 引っ越し作業に13名参加



十分な作業スペースと広大な駐車場完備でボランティアさんをお迎えする準備 OK

- 1月10日 ボランティアセンター「みどりと森の運動公園」に移転
VCスタッフ防災士17名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



バージョンアップした災害ボランティアセンターで初日ボランティアさんをお迎え



- 1月11日 VCスタッフ防災士19名派遣
- 1月12日 VCスタッフ防災士14名派遣
- 1月13日 VCスタッフ防災士17名派遣
- 1月14日 VCスタッフ防災士20名派遣
- 1月15日 VCスタッフ防災士10名派遣
- 1月16日 VCスタッフ防災士10名派遣
- 1月17日 VCスタッフ防災士8名派遣
- 1月18日 VCスタッフ防災士15名派遣
- 1月19日 VCスタッフ防災士13名派遣
- 1月20日 VCスタッフ防災士14名派遣

防災士派遣20日間で累計250名超え

令和 6 年 1 月 21 日

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

発災から 3 週間 累計 300 名の防災士が新潟市西区で災害支援

1 月 21 日(日)能登半島地震の発災から 3 週間。

新潟市西区災害ボランティアセンターへの防災士派遣支援は、累計 250 名に達しました。

(集計に新潟市防災士の会の所属者と一般ボランティアでの参加者も含んでいます)

毎日 10 名以上の防災士を安定的に派遣することができています。

ボランティアさんも悪天候にも負けず連日定員に達し 20 日に累計 1,000 名を超えました。

■21 日 朝ミーティングでの集合写真



発災当日から始まっている「新潟市西区宿泊避難所の防災士派遣支援」は、1 日 2～3 名のシフトを組んで、本日で派遣した防災士は、累計 51 名に達しました。

こちらも、朝早くから夕方遅くまで元気に避難者の支援活動をしています。

■21 日 避難所のお昼ごはん おいしそうなカレー弁当が届きました。



ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

発災から4週間 累計370名の防災士が新潟市西区で災害支援

1月28日(日)能登半島地震の発災から4週間。

新潟市西区災害ボランティアセンターへの防災士派遣支援は、累計310名に達しました。未だに、液状化に伴う「泥だし」のニーズが絶えることはありません。ボランティアさんも悪天候にも負けず連日定員に達し28日に累計1,400名を超えました。

■28日 朝ミーティングでの集合写真



発災当日から始まっている「新潟市西区宿泊避難所の防災士派遣支援」は、1日2～3名のシフトを組んで、本日で派遣した防災士は、累計63名に達しました。

1月末日に避難所の集約につき閉所が決定し、被災者支援活動はもうすぐ完了を迎えます。

■28日朝の館内清掃(トイレ掃除も毎日行い感染症対策を徹底しています)



ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

西区宿泊避難所（市民運営型）の防災士派遣支援活動は完了

発災から1か月 累計410名の防災士が新潟市西区で災害支援

2月1日(木)能登半島地震の発災から1か月。

発災当日から始まり1か月間続いた「新潟市西区宿泊避難所(市民運営型)」への防災士派遣支援活動は、新潟市の避難所の集約により1月31日に無事、完了いたしました。

防災士による支援活動は、累計75名でした。

※宿泊避難所は、コミュニティセンターを利用した新潟市初となる「市民が運営する避難所」です。



■ 避難所運営の防災士スタッフ

■ 避難所の案内をはがす防災士

●朝早くの朝食の支度から夕食の片づけまで大変お疲れ様でした。



新潟市西区災害ボランティアセンターへの防災士派遣支援は、累計335名に達しました。未だに、液状化に伴う「泥だし」のニーズが絶えることはありません。

ボランティアさんも悪天候にも負けず連日定員に達し1日に累計1,500名を超えました。

令和 6 年 2 月 7 日

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

西区災害ボランティアセンターは、週末型に移行しました。
新潟市西区への防災士の災害支援は、累計 460 名に達しました。

2月7日(水)通常型のボラセン最終日です。1月3日に新潟市西区災害ボランティアセンターを立ち上げてから30日間あまり、ボランティアへの被災者ニーズが減少傾向であるため、ニーズを溜めてから「週末に開設」する「週末型」に移行することになりました。

本日で、日本防災士会・新潟県支部の活動としては、「一区切り」とさせていただきます。

派遣支援期間中の派遣防災士は、385名に達して「参加団体でダントツの人数で派遣支援する」ことができましたことを報告いたします。(参加ボランティアは、累計1,694名)

この期間中、万難を排して手弁当で、被災者のために「派遣支援」にご協力いただいた防災士のみなさん「本当にお疲れ様でした」みなさまの頑張りに「深く感謝」いたします。

今後も被災者支援活動は、長く続きます。これまで通り新潟県支部の長濱被災地支援部長(新潟市西区)が中心となって、最後まで西区社会福祉協議会を支援していきます。



■通常型最終日の防災士スタッフ



■防災士に労いの言葉をかける新潟市社協会長

注)表題の累計は、西区宿泊避難所運営支援(坂井輪コミュニティセンター)派遣防災士の累計75名を加算しています。宿泊避難所は、コミュニティセンターを利用した新潟市初となる「市民が運営する避難所」です。

ご関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

西区災害 VC は、みどりと森の運動公園を3月11日で移転 新潟市西区への防災士の災害支援は、累計480名で完了。

1月3日に新潟市西区災害ボランティアセンターを立ち上げてから60日間あまり、新潟県支部「被災地支援ワーキンググループ」が長濱部会長を中心に機能し頑張ってくれました。

派遣支援期間中の派遣防災士は、405名に達して「参加団体のなかでダントツの人数で災害支援する」ことができました。(参加一般ボランティアは、累計1,858名:3月8日現在)

また、1月1日からコミュニティセンターを利用した新潟市初となる「市民が運営する避難所」に「福祉防災支援ワーキンググループ」の防災士5名がローテーションを組んで1月31日までに累計75名の防災士が宿泊避難者のために支援いたしました。

寒いなか、ご参加いただいたボランティアのみなさんありがとうございました。

暖かい雰囲気での災害ボランティアセンターの運営をしていただいた新潟市西区社会福祉協議会はじめ新潟市社会福祉協議会のみなさんお疲れ様でした。

1か月間、朝早くから夕方遅くまで被災者に寄り添い宿泊避難所の運営を担当してくれた延べ75名の防災士とこの災害に立向かうためにボランティアセンターに集まってくれた延べ405名の防災士に「感謝」いたします。

現地に赴くことができなくても支援金や資機材をご提供いただいたみなさまへ「御礼」申し上げます。最後に「アイシテルニイガタ!!」で無事完了といたします。



※写真:新潟市社会福祉協議会ホームページより引用